

授 業 概 要

【授業科目名】 解剖生理学 I

【学 年】 1 年次

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間（1 回 2 時間）

【担当者】 非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【授業目標】

1. 人体の発生、形態と構造を系統的に理解する。
2. 人体の基本単位の細胞、組織、器官および人体の特徴と成り立ちを理解する。
3. 運動器系、脳・神経系の構造について理解する。

回	授業内容	授業方法
1 2	人体とは	講義
3 4	運動器系総論	講義
5 6	頭頸部及び体幹の骨格と筋	講義
7 8	四肢の骨格と筋	講義
9 10	神経系の構造①	講義
11 12	神経系の構造②	講義
13 14	感覚器系の構造	講義
15	試験・まとめ	

【テキスト・参考書】

『解剖生理学（人体の構造と機能①）』（医学書院）

『人体の構造と機能』（医歯薬出版）

『ぜんぶわかる人体解剖図』（成美堂出版）

【成績評価方法】

出席状況・小テスト・定期試験などによって総合的に評価する。

授 業 概 要

【授業科目名】 解剖生理学Ⅱ

【学 年】 1年次

【単位数】 1単位

【時間数】 30時間（1回2時間）

【担当者】 非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【授業目標】

1. 呼吸器系の構造について理解する。
2. 循環器系の構造について理解する。
3. 外皮系の構造について理解する。

回	授業内容	授業方法
1 2	呼吸器系の構造①	講義
3 4	呼吸器系の構造②	講義
5 6	呼吸器系の構造③	講義
7 8	循環器系の構造①	講義
9 10	循環器系の構造②	講義
11 12	循環器系の構造③	講義
13 14	外皮系の構造	講義
15	筆記試験・まとめ	

【テキスト・参考書】

『解剖生理学（人体の構造と機能①）』（医学書院）

『人体の構造と機能』（医歯薬出版）

『ぜんぶわかる人体解剖図』（成美堂出版）

【成績評価方法】

出席状況・小テスト・定期試験などによって総合的に評価する。

授 業 概 要

【授業科目名】 解剖生理学Ⅲ

【学 年】 1年次

【単位数】 1単位

【時間数】 30時間（1回2時間）

【担当者】 非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 消化器系の構造について理解する。
2. 内分泌系の構造について理解する。
3. 泌尿器・生殖器系の構造について理解する。

回	授業内容	授業方法
1 2	消化器系の構造①	講義
3 4	消化器系の構造②	講義
5 6	消化器系の構造③	講義
7 8	内分泌系の構造①	講義
9 10	内分泌系の構造②	講義
11 12	泌尿器・生殖器系の構造①	講義
13 14	泌尿器・生殖器系の構造②	講義
15	試験・まとめ	

【テキスト・参考書】

『解剖生理学（人体の構造と機能①）』（医学書院）

『人体の構造と機能』（医歯薬出版）

『ぜんぶわかる人体解剖図』（成美堂出版）

【成績評価方法】

出席状況・小テスト・定期試験などによって総合的に評価する。

授 業 概 要

【授業科目名】 生化学

【学 年】 1 年次

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間 (1 回 2 時間)

【担当者】 非常勤講師

(当該領域の実務経験あり)

【授業目標】

ヒトを中心とする哺乳類動物での生体成分の正常代謝とその異常等の基礎知識を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	生体の化学の基礎知識	講義
2	細胞の構造と機能	講義
3	酵素の基礎知識	講義
4	糖質の構造と機能	講義
5	糖質代謝	講義
6	脂質	講義
7	脂質代謝	講義
8	タンパク質	講義
9	タンパク質代謝	講義
10	ボルフィリン代謝と異物代謝	講義
11	遺伝子と核酸	講義
12	遺伝子の複製・修復・組換え	講義
13	転写/翻訳	講義
14	シグナル伝達	講義
15	まとめ 試験	

【テキスト・参考書】

『生化学 人体の構造と機能②』(医学書院)

【成績評価方法】

筆記試験成績によって評価する。

授 業 概 要

【授業科目名】 病理学

【学 年】 1 年次

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間 (1 回 2 時間)

【担当者】 非常勤講師

(当該領域の実務経験あり)

【学習目標】

1. 代表的な疾患における形態変化と、その結果として生じる症状や病態について理解する。
2. 医療の現場において病理診断がどのような役割を担っているのかを理解する。
3. 看護師として病理診断にどのようにかかわっていくべきかを考える。
4. 病気(疾患)とは何か、病気の原因や発生機序を考え、病気を正しく理解する。

回	授業内容	授業方法
1	総論:病理学、病因論	講義
2	総論:組織修復、老化、死	講義
3	病理学総論:感染症、炎症、免疫 1 (第 2 章・3 章・4 章)	講義
4	病理学総論:感染症・炎症・免疫 2 (第 2 章・3 章・4 章)	講義
5	総論:循環障害	講義
6	病理学総論:腫瘍(第 9 章)	講義
7	各論:循環器の疾患	講義
8	病理学総論:代謝異常(第 6 章)、 病理学各論:腎・泌尿器系、男性生殖器系の疾患(第 15 章)	講義
9	各論:消化器の疾患 1	講義
10	病理学各論:呼吸器系の疾患(第 13 章)	講義
11	各論:消化器の疾患 2	講義
12	病理学各論:女性生殖器系、乳腺の疾患(第 15 章)	講義
13	各論:脳神経・運動器の疾患	講義
14	病理学各論:血液・造血器系の疾患(第 12 章)	講義
15	試験 まとめ	

【テキスト・参考書】

『病理学』(医学書院)

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】病態学Ⅰ《呼吸・循環器系》

【学 年】1年次

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

【担当者】非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 呼吸器系の主な疾患の病態・診断・内科、外科的治療を理解する。
2. 循環器系の主な疾患の病態・診断・内科、外科的治療を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	呼吸器系の病態・診断・内科的治療	講義
2	感染症（肺炎）、COPD、気管支喘息、結核等	
3		
4		
5	呼吸器系の病態・診断・外科的治療	講義
6	肺の腫瘍性疾患、自然気胸と胸腔ドレナージ等	
7		
8	循環器系の病態・診断・内科的治療	講義
9	虚血性心疾患、心不全、弁疾患、心筋疾患、血圧の異常等	
10	検査と治療処置：心電図、胸部X線、心エコー、心臓カテーテル法	
11		
12	循環器系の病態・診断・外科的治療	講義
13	心臓手術の補助手段（人工心肺など）、心筋症、大動脈の疾患、人工弁置換術、	
14	人工血管置換術、輸送還流機能障害等	
15	筆記試験 まとめ	

【テキスト・参考書】

『成人看護学2呼吸器』（医学書院）

『成人看護学3循環器』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】病態学Ⅱ《消化器、内分泌・代謝系》

【学 年】1年次

【担当者】非常勤講師

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 消化器系：胆嚢・肝臓・膵臓の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。
2. 消化器系：胃・腸・食道の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。
3. 代謝・内分泌系の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	肝不全の症状・徴候と病態生理：腹水、黄疸、肝性脳症、肝機能検査	講義
2	肝炎：分類、診断・治療	講義
3	肝硬変症、門脈圧亢進症、肝がんの病態・診断・治療	講義
4	胆石症、胆のう炎・胆肝炎、胆管がん・胆嚢がん、胆嚢ポリープ	講義
5	膵炎、膵臓がん	講義
6	症状と病態生理：嚥下困難、胸やけ、吐き気・嘔吐、腹痛、吐・下血、下痢、便秘、腹部膨満	講義
7	食道がん・胃がんの病態・診断・治療	講義
8	胃・十二指腸潰瘍・胃炎の病態・診断・治療	講義
9	腸炎、腹膜炎、イレウス、腸管ポリープ、結腸がん、直腸がん	講義
10	内分泌疾患の成り立ち、ホルモンの機能、ホルモン異常	講義
11	プロラクチン産生腫瘍、成長ホルモン産生腫瘍、ACTH産生腫瘍の病態・診断・治療	講義
12	甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患の病態・診断・治療	講義
13	糖尿病の病態・診断・治療	講義
14	疾患の理解：肥満症とメタボリックシンドローム、高脂血症・痛風の病態・診断・治療、患者教育について	講義
15	まとめ 試験	

【テキスト・参考書】

『成人看護学5 消化器』（医学書院）

『成人看護学6 内分泌・代謝』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】病態学Ⅲ《脳神経・運動器系・精神障害》

【学 年】1年次

【担当者】非常勤講師

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 脳神経系の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。
2. 運動器系の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。
3. 精神障害の主な疾患、症状・診断・治療を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	脳・神経の構造 診断法：神経学的診断、画像診断（単純レントゲン、CT スキャン、MRI）、脳血管撮影、超音波診断、核医学的診断、電気生理学的診断（脳波）等	講義
2	脳出血：治療（①手術、②血管内注射、③放射線治療、④保存的治療）クモ膜下出血：脳動脈流破裂によるクモ膜下出血、脳血管攣縮、水頭症	講義
3	脳梗塞：分類（ラクナ梗塞、アテローム血栓性梗塞、心原性脳梗塞、その他） 診断・治療（急性期脳梗塞治療）	講義
4	頭部外傷の病態と治療（①頭蓋骨骨折、②頭蓋内出血、③外傷性血管障害、④慢性期の問題、⑤小児の外傷、⑥スポーツ外傷）	講義
5	脳腫瘍：分類・臨床症状・高次機能障害・治療（手術療法、放射線療法、ガンマナイフ、化学療法、免疫療法、温熱療法）・予後	講義
6	運動器疾患のイントロダクション 運動器の構造と機能（①骨、②筋肉、③神経、④関節）	講義
7	症状とその病態生理（①疼痛、②形態の異常、③関節運動の異常、④神経の障害、⑤跛行（異常歩行）、⑥筋肉の障害）	講義
8	診断・検査・治療・処置（①問診、②視診、③触診、④特殊診察〔理学所見〕）	講義
9	外因性（外傷性）の運動器疾患 （1）骨折、（2）脱臼、捻挫・打撲、神経損傷、筋・腱・靭帯の損傷	講義
10	運動器の内因性〔非外傷性〕の運動器疾患 先天異常、骨・関節の炎症性疾患、骨腫瘍及び軟骨腫瘍等	講義
11	精神障害とは 精神障害の症状、分類、治療	講義
12	精神障害の症状 ①情緒障害、②意欲障害、③知覚障害、④思考障害、⑤記憶障害、⑥知能障害、⑦人格障害	講義
13	主な精神障害と治療 ①外因性精神障害、②内因性精神病、③心因性精神病、④てんかん、⑤知的障害	講義

14	主な治療 精神疾患の理解に必要な脳の機能と構造 薬の作用に必要な神経伝達物質と神経系 薬物療法	講義
15	まとめ 試験	

【テキスト・参考書】

『成人看護学 10 運動器』（医学書院）
『成人看護学 7 脳・神経』（医学書院）
『精神看護学 I』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】病態学Ⅳ《腎・泌尿器、生殖器系》

【学 年】1年次

【担当者】非常勤講師

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 腎不全の病態・診断・治療を理解する。
2. 腎・泌尿器・生殖器系の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。
3. 生殖器系の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	腎不全の病理、原因、症状、検査・治療（酸塩基平衡）	講義
2	透析療法 腹膜透析、腎臓移植	講義
3	疾患の理解：原発性糸球体腎炎、全身疾患による腎障害、間質性腎炎	講義
4	血液透析室の見学	講義
5	尿路・性器奇形、性分化異常、尿路通過障害、尿路・性器損傷	講義
6	尿路感染症・尿路結石症の病態および診断・治療を理解する。	講義
7	前立腺肥大症・前立腺がんの病態・診断・治療を理解する。	講義
8	腎腫瘍の病態・診断・治療を理解する。	講義
9	膀胱腫瘍の病態・診断・治療を理解する。	講義
10	子宮筋腫・子宮内膜症の病態・診断・治療を理解する。	講義
11	子宮がんの病態・診断・治療を理解する。	講義
12	卵巣がんの病態・診断・治療を理解する。	講義
13	性感染症の病態・診断・治療を理解する。	講義
14	更年期障害、子宮下垂 子宮脱の病態・診断・治療を理解する。	講義
15	まとめ 試験	1時間

【テキスト・参考書】

『成人看護学8 腎・泌尿器』（医学書院）

『成人看護学9 女性生殖器』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】病態学V

【学 年】1年次

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

【担当者】非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 血液・造血器系の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。
2. 神経系の病態・診断・治療を理解する。
3. 感染症・膠原病の病態・診断・治療を理解する。
4. 乳房の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	検査（骨髄穿刺・生検、リンパ節生検など） 血液型と輸血、造血器腫瘍の分類 造血器腫瘍治療の基本理念	講義
2	貧血の病態・診断・治療 白血病の病態・診断・治療	講義
3	悪性リンパ腫の病態・診断・治療	
4	疾患の理解：脱髄疾患、末梢神経疾患、運動ニューロン疾患、脊髄小脳変性症、自律神経疾患	講義
5	高次大脳機能障害：失語症・運動障害・失行・失認	講義
6	進行性筋ジストロフィー症、筋硬直症候群、多発筋炎	講義
7	ALSの病態・診断・治療	講義
8	錐体外路疾患と不随意運動（パーキンソン病、ハンチントン舞踊病の病態生理・症状・分類・治療）	講義
9	自己免疫疾患 症状・病態生理・検査	講義
10	膠原病 膠原病類縁疾患	講義
11	菌血症・敗血症、感染性心内膜炎、中枢神経系感染症	講義
12	輸入感染症	講義
13	乳房の疾患の病態・診断・治療	講義
14	乳癌：種類と特徴、診断・治療	
15	まとめ 試験	

【テキスト・参考書】

『成人看護学9 女性生殖器』（医学書院）

『成人看護学11 アレルギー・感染症』（医学書院）

『成人看護学7 脳神経』（医学書院）

『成人看護学4 血液・造血器』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】病態学VI《感覚器系》

【学 年】1年次

【担当者】非常勤講師

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 皮膚の構造と機能、病態・診断・治療を理解する。
2. 感覚器系：耳鼻咽喉の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。
3. 感覚器系：眼科の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。
4. 感覚器系：口腔・歯科の主な疾患の病態・診断・治療を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	咽頭・喉頭の機能と構造 検査 耳の機能と構造 聴力検査	講義
2	耳の代表疾患：急性・滲出性・慢性中耳炎 内耳炎 メニエル病	講義
3	鼻の代表疾患：鼻出血 アレルギー性鼻炎 慢性副鼻腔炎	講義
4	疾患の病態・診断・治療の理解：耳鼻咽喉の癌	講義
5	眼の構造と機能	講義
6	疾患の理解（症状・検査・治療）：緑内障 視神経炎 水晶体の疾患、眼底疾患 眼位・眼球運動の異常等	講義
7	疾患の理解（症状・検査・治療）：結膜疾患 涙器・角膜疾患 ぶどう膜疾患 屈折・調節異常	講義
8	歯科医療の内容と構成 歯科における看護の目的と役割 口腔・歯の構造と機能	講義
9	口腔疾患の主な症状 歯・歯周組織の疾患の主な症状・診断・検査	講義
10	口腔・歯疾患の主な治療法 歯・歯周組織の主な疾患と治療法 顎・顎関節の主な疾患と治療法 口腔軟組織の主な疾患と治療法など	講義
11	皮膚の構造と機能	講義
12	皮膚疾患で生じる主な症状	講義
13	皮膚疾患の診断・検査・治療：炎症性皮膚疾患 物理的原因による皮膚疾患 感染性皮膚疾患等	講義
14	皮膚疾患患者の看護：必要な情報とアセスメントの視点 疾患の経過と看護、 薬物療法・外用療法を受ける患者の看護	講義

15	試験 まとめ	
----	--------	--

【テキスト・参考書】

『成人看護学 13 眼』(医学書院)

『成人看護学 12 皮膚』(医学書院)

『成人看護学 14 耳鼻咽喉』(医学書院)

『成人看護学 15 歯・口腔』(医学書院)

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】看護形態機能学

【学 年】1年次

【担当者】専任教員

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

解剖生理学で学習した知識を活用し、対象のからだの構造と機能を使って「食べる・排泄する・眠る」等の日常生活をどのように営んでいるのかを学び、看護を実践に生かせるようにする。

回	授業内容	授業方法
1	1. 学び方ガイダンス（グループワーク・アクティブラーニング）	講義 演習
2	2. 生活と身体の構造と機能	
3	1) 食べる－排泄する－ ・食欲・食行動 ・咀嚼・飲み込む・消化 ・消化・吸収 ・排泄（排便）	
4	2) 動く－排尿する－	講義
5	・尿意	
6	・動く・歩く ・トイレに行く ・排尿	
7	3) 眠る	講義 演習
8	・睡眠周期	
9	・睡眠パターン ・体のリズム	
10	4) 内部環境の恒常性	講義 演習
11	・流通の媒体－血液	
12	・流通の原動力－心臓 ・血圧の恒常性 ・呼吸・ガス交換	
13	発表	
14		演習
15	筆記試験	

【テキスト・参考書】

『看護につなげる形態機能学』（メヂカルフレンド社）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】微生物学

【学 年】1年次

【担当者】非常勤講師

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 各種感染症の代表的な原因微生物、臨床像ならび治療法を学ぶ。
2. 感染症治療薬の名称と使用方法ならびに対象となる微生物を学ぶ。
3. 感染の成立、感染予防の基礎知識と患者へのアプローチの基本を学ぶ。

回	授業内容	授業方法
1	感染症学概論：感染症とは 細菌学：微生物の形態・構造、細菌の分裂増殖・常在菌叢の働き、検体の採取・取り扱い方	講義
2	各種検体の採取法(保存と容器)各論：グラム陰性桿菌(ブドウ球菌・連鎖球菌)、グラム陰性桿菌(腸内細菌・緑膿菌・ビブリオ)	講義
3	各論：グラム陽性桿菌(リステリア・炭疽菌)、グラム陰性球菌(髄膜炎菌・淋菌)、嫌気性菌(クロストリジウム・バクテロイデス)	講義
4	各論：スピロヘータ(梅毒)、レプトスピラ抗酸菌(結核菌・MAC)病態と治療、リケッチア(つつか虫病・ライム病)、クラミジア	講義
5	真菌学総論：酵母様真菌(形態) 各論：Candida・アスペルギルス・リプトコッカスの症状と診断、治療	講義
6	原虫と寄生虫学総論：原虫、膾トリコモナス、ランブル鞭毛虫、赤痢アメーバ、クリプトスポリジウム、トキソプラズマ、線虫・糞線虫・条虫の病態と疫学、治療	講義
7	ウイルス総論：感染経路と分類 各論：DNAとRNAウイルスの種類と病態・治療肝炎ウイルス、HIV、インフルエンザウイルスなどの診断・治療・予防	講義
8	感染治療薬：β-ラクタム系抗菌薬(ペニシリン系、セフェム系)、アミノ配糖体、マクロライド系、テトラサイクリン系、ニューキノロン系、クリンダマイシ、グリコペプチド系、メトロニダゾール、ST合剤、その他	講義
9	感染治療薬：抗真菌薬、抗結核菌、抗ウイルス薬、抗寄生虫薬	講義
10	感染症学概論：各種感染症の基礎知識 中枢神経系、呼吸器系、循環器系、尿路・生殖器系、骨・関節系、性感染、皮膚・組織系、消化器、腹腔内感染症の特徴と治療法	講義
11	特に重要な微生物(検査材料別) 感染症法(病原体の種別と感染症の類別) 現在問題となっている耐性菌 迅速抗原検査と病原体	講義

12	ワクチンの種類と副作用、病院の分離菌頻度、薬剤感受性率、疫学データの解析	講義
13	感染予防の基礎知識：院内感染定義と防止策 処置・ケア時・血流感染・尿路感染・院内感染肺炎、手術部位感染防止 消毒と滅菌	講義
14	感染予防対策：標準予防策、経路別感染 予防策(接触、飛沫、空気感染)	講義
15	職業感染予防・感染対策地域連携について 試験	

【テキスト・参考書】

『ビジュアル微生物』（ヌーヴェルヒロカワ）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】薬理学

【学 年】1年次

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

【担当者】非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 医薬品の作用原理とその影響を理解し、適正かつ安全に使用するための注意事項を学ぶ。
2. 主な疾患の治療薬について効果と副作用、使用方法と注意点を学ぶ。

回	授業内容	授業方法
1	生活習慣病（糖尿病） 生活習慣病とは、糖尿病治療薬、インスリン自己注射の患者教育の重要性	講義
2	心臓血管系作用薬 降圧薬、脂質異常症治療薬、抗不整脈薬、狭心症治療薬、 うっ血性心不全治療薬、抗血栓薬	講義
3	医薬品概論 薬はどのように作用するのか、体内をめぐるのか、なぜ有害作用は起こるのか	講義
4	救命救急時に使用する薬 ショック、過量投与、循環改善薬、薬物中毒治療薬、医療安全、TDMの必要性	講義
5	疼痛治療薬（関節リウマチ、がん） 関節リウマチ治療薬、抗炎症薬（NSAIDs・ステロイド）、オピオイド鎮痛薬	講義
6	抗がん薬とその有害作用 アルキル化薬、代謝拮抗薬、抗生物質、植物アルカロイド、内分泌療法薬、 分子標的治療薬など	講義
7	麻酔薬、向精神薬 全身麻酔薬、局所麻酔薬、筋弛緩薬、抗精神病薬、抗うつ薬、 睡眠薬・抗不安薬	講義
8	感染症に使用する薬 細菌感染症、ウイルス感染症、真菌感染症、寄生虫感染症、消毒と滅菌、 予防接種について	講義
9	呼吸器系作用薬、褥瘡 気管支喘息治療薬、抗アレルギー薬、鎮咳・去痰薬、褥瘡治療薬、軟膏基材	講義

10	中枢神経系作用薬 中枢神経系の働き、抗てんかん薬、パーキンソン症候群治療薬、 アルツハイマー型認知症治療薬	講義
11	脳血管障害治療薬、消化器系作用薬 脳血管障害(急性期)の薬物療法、消化性潰瘍治療薬、制吐薬、下剤、 腸疾患治療薬	講義
12	痛風、甲状腺機能障害、貧血治療薬 高尿酸血症治療薬、甲状腺機能障害治療薬、貧血治療薬、ビタミン	講義
13	泌尿器、産婦人科領域治療薬 腎機能障害治療薬、排尿障害治療薬、生殖器系作用薬(性ホルモン、子宮収縮薬)	講義
14	骨粗鬆症、眼科領域、頭痛、栄養管理 骨粗鬆症治療薬、緑内障治療薬、片頭痛治療薬、栄養管理(静脈栄養法)	講義
15	筆記試験 まとめ	

【テキスト・参考書】

『ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち② 臨床薬理学』（メディカ出版）

『パワーアップ問題演習薬理学』（サイオ出版）

『看護学生のための薬理学ワークブック』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験